

DREAMS LOVE SEX

鋭い知性で観る者の心を深くえぐる

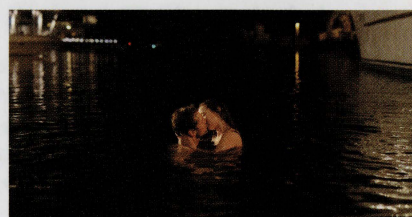
——トッド・ヘインズ(『キャロル』)



第75回ベルリン国際映画祭で
ノルウェー映画初の最高賞〈金熊賞〉受賞!

イングマール・ベルイマン、アキ・カウリスマキ、ヨアキム・トリアーに続く
北欧映画の知られざる名手、ダーグ・ヨハン・ハウゲルード監督の長編作、日本初上陸!

ベストセラー小説家や図書館の司書といった異色の経歴を持ちながらも、長編映画デビュー作「I Belong」(英題/2012)や「Beware of Children」(英題/2019)がノルウェー・アカデミー賞(アマンダ賞)を席巻するなど、北欧映画界ではその確かな実力が評価されてきたダーグ・ヨハン・ハウゲルード。トリロジーとして発表した『SEX』で昨年の第74回ベルリン国際映画祭にてエキュメニカル審査員賞を含む3部門を受賞、『LOVE』は第81回ヴェネチア国際映画祭コンペティション部門に出品、そして『DREAMS』では今年の第75回ベルリン国際映画祭にてノルウェー映画初の金熊賞という快挙を成し遂げ、3作連続で世界中の注目を集めた。歴代の名匠たちに続く、北欧の知られざる名手ハウゲルード渾身の3作品が、満を持しての日本初劇場公開となる。



これまでにない感情に出会うとき、人は何を考え、どんな言葉を交わすのか——
自然と文化の美しい街、オスロから届く「恋」「愛」「性」にまつわる3つの“風景”



女性教師に恋をした17歳少女の赤裸々な初恋手記をめぐる『DREAMS』、2人の医療従事者が様々な愛の形を模索する『LOVE』、妻子がいる男性がとある体験から“らしさ”を再考する『SEX』。3作に共通するのは、自らの心の奥底にある欲望に気づいた人々が繰り広げる、ウィットに富んだ会話の数々。正義のジャッジを下すことなく、これまでに刷り込まれてきた価値観と内から湧き出てくる感情を紐解いていく人々の姿に、わたしたちは共感し、戸惑い、そして未知の刺激と余韻に出会う。そして日常的に使用されるフェリー、ランドマークであるオスロ市庁舎、煙突のある家々など、ノルウェーの首都・オスロならではの自然と文化が融合する美しい景色が、人々の優しさややかな営みを映し出す。エリック・ロメールから多大な影響を受けたというハウゲルードが描く、現代社会で生きる人間の“おかしみ”をご堪能あれ。

Director's Comment



この3作品の根底にある主題は何よりも、「どうすれば善く生きられるか」という問いです。そして私が最も伝えたかったのは、今とは違う生き方や考え方も、きっと可能だということなのです。

by ダーグ・ヨハン・ハウゲルード

Dag Johan Hauge

オスロ、3つの愛の風景

監督・脚本: ダーグ・ヨハン・ハウゲルード 撮影: セシリエ・セメク
(DREAMS) 出演: エラ・オーヴァービー、セロメ・エムネトゥ、アネ・ダール・トルブ、アンネ・マリット・ヤコブセン
2024年/ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/110分/ビスタ/原題: Drømmer/英題: Dreams (Sex Love)
(LOVE) 出演: アンドレア・ブレイン・ホヴィグ、タヨ・チッタデッラ・ヤコブセン、マルテ・エンゲブリクセン、トーマス・グレスタッド、ラース・ヤコブ・ホルム
2024年/ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/120分/ビスタ/原題: Kjærlighet/英題: Love
(SEX) 出演: トルビヨルン・ハール、ヤン・グンナー・ロイゼ、シリ・フォルバーク、ビルギッテ・ラーセン
2024年/ノルウェー/ノルウェー語/DCP/5.1ch/118分/シネスコ/原題: Sex/英題: Sex
配給: ビターズ・エンド 後援: ノルウェー大使館
©Motlys www.bitters.co.jp/oslo3 X @BittersEnd_inc



9/5(Fri)より3作一挙公開!

オンライン ¥1,600(税込)絶対発売中!

【大阪】	【京都】	【兵庫】
テアトル梅田 06-6440-5930	アップリンク京都 075-600-7890	シネ・リーブル神戸 078-334-2126

【愛知】	【北海道】	【福岡】	ほか、全国 順次公開
ナゴヤキネマ・ノイ 052-734-7467	シアターキノ 011-231-9355	KBCシネマ 092-751-4268	



第75回ベルリン国際映画祭
最高賞〈金熊賞〉受賞

DREAMS



第81回ヴェネチア国際映画祭
コンペティション部門正式出品

LOVE



第74回ベルリン国際映画祭
エキュメニカル審査員賞含む3部門受賞

SEX



特集上映

オスロ、3つの愛の風景

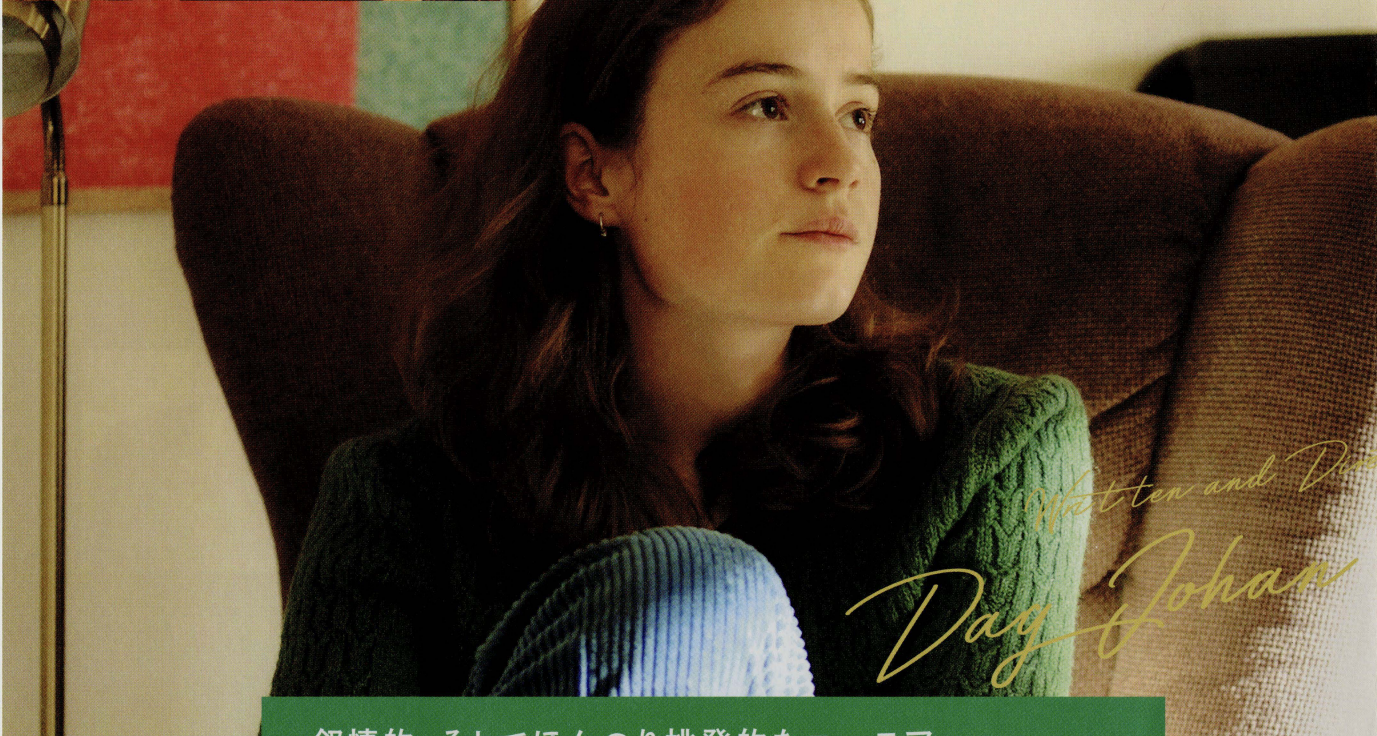


三大映画祭が惚れ込んだ北欧の知られざる名手ダーグ・ヨハン・ハウゲルード監督

「恋」「愛」「性」—— 答えのないテーマを探求する珠玉の3作品を一挙公開!

配給: ビターズ・エンド 後援: ノルウェー大使館 ©Motlys bitters.co.jp/oslo3

DREAMS



Written and Directed by
 Dag Johan Haugerud

叙情的、そしてほんのり挑発的なユーモア
やさしく、どこか夢見心地に包み込む — THE NEW YORKER



恋の陶醉。

恋に恋する少女の綴った手記が、
思わぬ方向に一人歩きしていく——

女性教師のヨハンナに初めての恋をした17歳のヨハンネは、この恋焦がれる想いや高揚を忘れないように自らの体験を手記にする。そしてこの気持ちを誰かに打ち明けようと詩人の祖母に手記を見せたことから、物語は思いもよらない展開へと進み始める。
ヨハンネが経験するのは、誰もが一度は経験したことのある相手の一挙手一投足に対する期待や不安、過度な妄想、理不尽な嫉妬などあまりにも無垢な初恋。そしてその気持ちを秘密にしておきたい、でも誰かに共有したいという矛盾した思いが祖母や母を巻き込み、ヨハンネの手から離れた手記の行方が、モノローグで綴られる。娘の手記を見て、祖母は自らの女性としての戦いの歴史を思い出し、母は「同性愛の目覚めを記したフェミニズム小説」と称し、現代的な価値観にあてはめようとする。3世代で異なる価値観を持つ3人が初恋の手記を通して辿る運命は——。

軽やかでセクシー、どこか哲学的——そして意外にもラディカル
カジュアルな関係も真実の愛も、同じ温度で見つめる繊細な愛の物語
—— VARIETY



81
MOSTRA INTERNAZIONALE D'ARTE CINEMATOGRAFICA
LA BIENNALE DI VENEZIA 2024
Official Selection
第81回ヴェネチア国際映画祭
コンペティション部門正式出品

LOVE

愛の考察。

愛することに不器用な大人たち——
あらゆる“親密さ”を探求するロマンティック・ジャーニー

泌尿器科に勤める女性医師のマリアヌと男性看護師のツール。共に独身でステレオタイプな恋愛を避けている。マリアヌは友人から男性を紹介されるが、子どもがいる彼との恋愛に前向きになれない。そんな折、ツールはマッチングアプリなどから始まるカジュアルな恋愛の親密性を語り、マリアヌに勧める。興味を持ったマリアヌは自らの恋愛の可能性を探る。一方ツールは偶然フェリーで知り合った男性ビョルンを勤務先の病院で見かけ——。出会いが多様化した現代の恋愛観がリアルに映し出されており、主人公達は劇中に度々登場するフェリーのように本能と理性をゆっくり行き来しながら、しっくりくる“親密さ”を探す。愛することに不器用な大人たちが、静かな本音をさらけ出す、3作で最も優しく今を映し出した1作。



“らしさ”にうんざりしたあなたへの解毒剤
—— The Hollywood Reporter



性の再考。

ある日突然、男らしさを揺さぶられたら——
“幸福の象徴”煙突そうじ人が悩みに悩む異色コメディ

煙突掃除を営む妻子持ちの2人の男。ひとりとは客先の男性との一度きりのセックスで新しい刺激を感じるが、平然と妻にこの話をしたこと夫婦仲がこじれてしまう。もうひとりとはデヴィッド・ボウイに女として意識される夢を見て、自分の人格が他者の視線によってどう形成されているのか気になる。良き父、良き夫として過ごしてきた2人は自身に起きた衝撃的な出来事により、自らの“男らしさ”を見つめ直していく。この出来事について語られる会話には「どこからが浮気か」「夢は現実どんな影響を与えるのか」といった誰もが一度は考えたことのある普遍的なテーマが散りばめられている。また“セックス”や“セクシュアリティ”といったデリケートな話題を含みつつも、あっけらかんとした会話にはオフビートな空気が漂う。3作で最もコメディタッチな異色作。

74th Internationale Filmfestspiele Berlin
Panorama
第74回ベルリン国際映画祭
エキキュメンカル審査員賞&
ヨーロッパ・シネマ・レーベル賞&
国際アートシネマ連盟賞

SEX